

2017年(平成29年)2月27日(月) NO 107号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	http://www.k-puro.co.jp
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

【加盟団体】

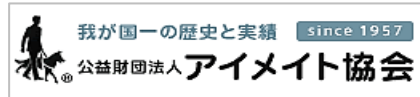


RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/
NPO 法人	さいたま起業家協議会	http://www.saitama-kk.org/
公益社団法人	千葉東法人会	http://www.chibahojin.jp/
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体・企業】



Shirayama Eye Clinic (株)
しらやま眼科クリニック



武蔵浦和法律事務所
MUSASHIURAWA LAW OFFICE

ごあいさつ



ルールやマナーを守るといった「正しいこと」は、社会の秩序を保つためにも大切です。しかし「正しいこと」を振りかざして他人を批判しては良好な関係は築けません。

私たちは、他人の不正はよく見えても、自分の間違いにはなかなか気づきません。知らず知らずのうちに周囲に迷惑をかけていることもあるでしょう。自分がそれを指摘されたら・・・と考えることも大切です。いつも謙虚な心で相手の立場や状況を思いやることのできる、春風のように温かい人柄をつくっていききたいものです。

代表取締役 木戸 良樹

今月の良い話 「歴史の本筋を知る」

天正三(1575)年5月21日に行われた戦に、長篠の戦いがあります。
戦場になった設楽原は、名古屋の衛星都市と言われる新城市の付近にあたります。
この戦は織田信長、徳川家康連合軍対武田勝頼の戦でした。
結果として信長家康連合軍が勝つのですが、学校では、長篠の戦いにおける勝因は「当時の新兵器、鉄砲の力で騎馬軍団を圧倒したから」と教わったと思います。

実はこれ、結果から歴史を見たという意味で、失敗例なんですね。
というのも、鉄砲のフル活用がこの戦の主な勝因ではなかったということが、最近の研究で分かってきたのです。これはどうやって勝ったか、負けたのかということは関係なしに、あの戦は「信長が勝った」という事実があればそれでよいと考えてきたから起こった問題です。
結果だけ重視してきたことが戦いの実相を見誤ることに繋がってしまった。
ではどう見誤ったのでしょうか。

信長というのは進取の精神に富んでいて、新しい物は素早く取り入れる人でした。

彼は、日本人で初めて地球は丸いということを理解した男だとか、日本で初めてワインを飲んだ男だとか言われていますし、安土城は安土山の山上に七階建ての高層建築で、彼はその六階に居住していたことから、日本で初めて高層住宅住まいの男とも言われています。

こういう、進取の精神に富んだ男ですから、1543年に種子島に入ってきた鉄砲を手にして、これをうまく戦に利用しない手はないなと思ったのは事実だと思います。

さらに、鉄砲の三段撃ちについても、確かな証拠はありませんけど、たぶん信長が考案したのだろうと言われています。

三段撃ちはどういうものかという、鉄砲隊を三列にして、最前列が撃ったらすぐに最後列に回りながら火薬を捨てて、新しい火薬を詰めて着火する。

二列目に進んで火が火縄を回って、爆発寸前になると最前列に行って砲撃する。

その繰り返しです。要するに、相手陣営に対して間断なく鉄砲を発射できるという戦法です。



戦の日はいまの暦に直しますと六月末あたりです。

つまり梅雨時で、一年で一番雨の降る確率の高い時期ということになります。火縄銃は何が一番の敵かという「火が命」の兵器ですから、「雨」なんです。一年中で、最も雨の降る梅雨時に、戦の行方を占う主武器として、本当にわざわざ鉄砲を選んだかという疑問が生じます。

信長と一緒に戦った家康は城を舞台とした戦より、野戦が得意な武将と言われていました。彼は予め、戦場になるだろう所に、敵の馬の進撃を阻止する馬防柵を配置したり、あぜ道を掘ってそこに鉄砲や刀を持った兵隊を配置するなどの仕掛けを施します。つまり、あの戦の最大の勝因は鉄砲ではなかった。

少なくとも、鉄砲の効果的使用が勝因ではない。むしろ、城に籠っていた武田勝頼を野戦に引っ張り出した「事前の調略」の勝利と考えるのが合理的だと言えるでしょう。

////////////////////

今月の良い話 「本を忘るな」

茶道の開祖とされる宗匠・千利休に、次のようなエピソードがあります。

ある時、弟子の一人が、

「茶の湯を学ぶ上で心得ておくべき最も大切なことはなんでしょうか」と利休に尋ねた。

それに対し利休は、

「炭は湯の沸くように置き、花は野にあるように、夏は涼しく冬は暖かに、刻限は早めに、降らぬとも傘の用意、相容に心せよ」と答えた。

そのあまりにも基本的で型にはまった答えに、弟子が

「そのようなことは、すでに心得ています」と言うと、

利休は続けてこう言った。

「もし、あなたがそのすべてを身につけ、実践できるのなら、私はあなたの弟子になります」と。



茶道を大成した一大業績から、型破りな茶人としてのイメージが先行しがちな利休ですが、このエピソードからは基本を愚直なまでに深掘りする職人的横顔が垣間見えます。この利休が知人の宮大工の棟梁に贈った短歌が残っています。

規矩(きく)作法 守りつくして 破るとも
離るとても 本を忘るな



規は円、矩は直角。今でいうコンパスと定規です。

寸法を正確に測ることは大工仕事のいわば「型」。

一説には守破離の語源とも言われるこの歌を、利休は「本を忘るな」と結びつけました。

あくまで基本を深掘りする中にこそ、新たな発見は生まれ、己のオリジナリティがにじみ出てくる。そう説いているのです。

相撲界では「異能力士に三役なし」と言われ、基本の正道を踏まずに特異なやり方で勝つ力士は、三役まで上るような大成は期待できないとされます。

相手と四つに組んでも負けない四股の力なくして、小手先の技や攻め口が効果を発揮しないことは想像に難くありません。

難しいのは、いつ「守」の基本段階から「破」の応用段階へとステップアップを図るかの見極めです。武道や芸事であれば、師匠が上達ぶりから判断して、見極めを指示してくれることもあるでしょうが、経営トップは己で見極め、判断を下さねばならないことが往々です。

いちばん簡単なのはなにも変えないことです。伝統の事業や商品、味を頑なに守る。

特に農耕民族で定住型の日本人には、保守性、安定性を本能的に求める気質があると言われるます。

基本のストレートだけで勝負できるうちはまだよいのですが、やがて球威が落ち、球筋をライバルに読まれて狙い撃ちにあい始めたら手遅れです。

投球術がマンネリに陥らぬよう、カーブやシュート、スライダーなど、柔軟に変化球を組み合わせることで、基本のストレートが生きてくるのです。

モラロジービジネスクラブ 学習資料 NO5

事件ファイル NO107 耐震ロック 「震護くん」



地震と同時に揺れを感知して瞬時に扉をロック！

ご家庭の地震対策は万全ですか？震度5以上の揺れを感知し、即座に扉をロックする為、食器や収納物の飛び出しや落下を防ぎます。

ご家庭の食器棚や収納家具など、ほとんどの木製開き戸に取付け可能です。本体はキャビネット上部に設置する為に、収納物の出し入れ等にも邪魔になりません。 イマオコーポレーション 2個セット 2,000円位

プロ太の小話集 NO107 『 PC の設定 』

ついに私もパソコンを購入した。
いつまでもパソコン音痴では会社の若い者に権威を示せないというものだ。
さっそくマニュアルに従ってセットアップを開始したのだが、やはり初心者の悲しさだろうか。
あるいは歳をとって頭が固くなってしまったということだろうか。
ドライバーのインストールのところで躓いてしまったのである。
やむなく私は、メーカーのカスタマサポートセンターに電話することにした。



電話に出たのは男性のサポートマンだった。
私は状況を懸命に説明したが、彼は難しい専門用語を並べて回答し、私はますます分からなくなってしまったのである。
「失礼ですが・・・。」私は頼んだ。
「出来れば、私が小さな子供だと思って、もう一度分かりやすく説明してもらえませんか？」
「分かりました・・・」サポートマンは快諾した。
「坊や・・・。ママに替わってくれるかい？」



今月の K-PURO ニュースいかがでしたか？



年収 300 万円の人、1000 万円の人、1 億円の人の違いについてある人が本を出しています。年収 300 万円の人には話を聞かない、年収 1000 万円の人には話の 7 割を参考にし、年収 1 億円の人には話を信じて行動する、と分類しています。

年収 1 億円の人たちは、「何か教わったら、まずは全てを受け入れて真似をする」そうです。それにより成功者と同じ行動をすることになるため、自らも同様に成功を掴むことができると指摘しています。

また、今回の二つの良い話は、「今までの知識が全て正しいとは限らない」、「基本を重視する」という相反する話かも知れません。

しかし、基本精神は決してぶれることなく、時代に合った変化を柔軟に取り入れながら、まずは行動してみる。優しいことではないかもしれませんが、今、そしてこれからも企業を永続するために、私たちにとってこれらを取り入れることは最も重要であると感じています。

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です (体長 10メートル・体重 1トン・無敵無敗)